

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	ゆーあい 天馬	評価実施年月日	平成20年10月15日
評価実施構成員氏名	・高橋 義隆 ・森永 昌代 ・高木 啓子 ・上田 早百合 ・有田 美鈴 ・斉藤 由香 ・鈴木 みどり ・林 千秋 ・横田 春子 ・土井 孝子		
記録者氏名	平川 摩弥	記録年月日	平成20年11月1日

北海道

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	事業所として独自の理念をつくり事務所他にかかっている		今後も継続していく
2	○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	玄関、事務所、ダイニング等に理念をかかげ目に付く様にして実践に取り組んでいる		今後も継続していく
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	地域の事業所に参加をしたり推進会議等で理解して頂けるように努力している		今後も継続していく
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日頃から近隣とは普通の町内会の日常的な会話、挨拶等を気楽に声掛け出来る様にしている		今後も継続していく
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	自治会等の行事には出来るだけ参加するように努めている。 自治会からの行事の案内がある		今後も継続していく
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域に対して事業所としてどのような貢献や支援が出来るのか検討していきたい		今後も継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
○評価の意義の理解と活用 7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価を活力し改善に取り組み意識ある評価につなげて行きたい		今後も継続していく
○運営推進会議を活かした取り組み 8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議ではホームの取り組み状況等を報告し委員よりの意見を活かし活用している		今後も継続していく
○市町村との連携 9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	町との地域ケア会議又は他の会議等のメンバーとなり連携を図り向上に取り組んでいる		今後も継続していく
○権利擁護に関する制度の理解と活用 10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修等で学ぶ程度で実際に活用して支援等はしていない		今後も継続していく
○虐待の防止の徹底 11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止の研修会に参加して、老人の虐待の現状を知り入居者の観察及び家族等より聞き取りに努めている。		今後も継続していく
4. 理念を実践するための体制			
○契約に関する説明と納得 12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時等には利用者や家族等に要望事項説明書などホーム内の居室などを見てもらい理解をえている		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	不満や苦情等を利用者から寄せられた場合はその都度職員間で話し合いをしている		今後も継続していく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	利用者の家族等の報告は天馬通信や家族が来所した時には報告している		今後も継続していく
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族がホームに意見、苦情等を寄せられた場合には両者の話し合いを設ける機会を作っている		今後も継続していく
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、ミーティング等で提案などを意見を聞く機会を設ける		今後も継続していく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	状況が許す限り、職員を確保する様に努めている。		今後も継続していく
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	ホーム内の異動は極力抑えているが退職等による補充は避けられず出来るだけ最小限に抑える努力をしている		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員には必要な資格等の研修や試験に臨んで頂く事を進めている		今後も継続していく
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	地域の同業者とは事あるごとに意見交換の場を設けて交流に努めている		今後も継続していく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職場の環境作りには親睦会等などの食事会も含め取り組んでいる		今後も継続していく
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	職員の向上心には個人が努力して報われる取り組みを心掛けて行きたい		今後も継続していく
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	利用者事前表に元づき利用者には見学等をしていただき説明をしていく事を心掛けをしている		今後も継続していく
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	同上		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	在宅での家族や担当介護支援専門員との話し合いは行ってはいるが、単身者や身内が遠方に住んでいる、入居待ちが長い方等がほとんどで、在宅経緯には結びついていない。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	事前に訪問をして頂きながら施設内見学をしてもらっています		事前調査時、過去の生活を聞き本人を知り生活支援をして行きたいと思っています
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に散歩をしたり、ゲームをしたり、わからない事等がある時は昔はどうだったのか聞き指導してもらっています		出来る事を手伝ってくださる 洗濯たたみや掃除など
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時に本人の状態説明をしたり、電話等で説明や相談に応じています		今後も継続していく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	いつでも気楽に面会をして頂き又は、本人が家族に伝えて欲しい事を家族に伝えられるように応じています		今後も継続していく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	一緒に散歩をしたり、ゲームをしたり、わからない事等がある時は昔はどうだったのか聞き指導してもらっています		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・生活内で食事を共にする事により、接する機会を多く持ち関係を大切にしています。 ・トラブルがあった場合には、スタッフが中に入り対応をしている。		今後も継続していく
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	特に対応はしていない	○	必要な時は対応できるようにする
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人の生活時間を自由に活用していただき、本人の希望をうけいれる。	○	外出などの行き先を、スタッフ側から提案・助言等の支援をして、楽しく過ごしていただく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活状況を聞き、把握をする		今後も継続していく
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	その人の生活のリズムに合うようにケアをし、対応に勤めている	○	何がしたいのか・何が欲しいのか、本人の意思又は観察をしながら状況把握に努めたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	計画を作成するにあたり、本人に聞き取りをして、それに対しスタッフ間のカンファレンス等を行い、意見交換しながら作成する。		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状況変化等あれば、アセスメントをして追加するようにしている。		今後も継続していく
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者個人の記録用紙に、日常生活内容を記載し保存しています		今後も継続していく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	事業所として多機能性を活かした取り組みを、特にはしていないがその時に応じて、家族交流会など行事を行って支援している。		今後も継続していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の公的機関、特に小・中学校より職場体験や施設訪問などを受け入れ、協力している。		今後も継続していく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	必要性に応じて、他のサービスの活用支援を事業者等と話し合い、支援を行っている。		今後も継続していく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターの設置に伴い必要に応じて協働している。		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	・かかりつけ医には、受診支援を行う。 ・変化のある時には随時、担当医に連絡し支持等してもらい対応しています		今後も継続していく
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	数名は専門医等に受診したときには相談などして、指示・助言をしてもらうようにしています。		今後も継続していく
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	・かかりつけ医療機関の看護師に相談したり、支持・助言してもらうようにしている。 ・ホーム内に看護師としては常勤していないが、元看護師として働いていたスタッフがいたので、相談や助言をもらっている。		今後も継続していく
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院した時は面会に出向き、状況説明をしてもらえるように病院関係者に聞きながら、対応していく。	○	突然出向いて、説明を聞くことが出来ないこともあるので、事前に連絡等をして連携を図りたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	現在、当ホームでの取り組みは行っていない。	○	終末期ケアの必要性が重要とされる方向性について、話し合いをしていきたいとおもっています。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ターミナルケアは行っていないが、ターミナルケア研修には参加をして支援の取り組み等を 考えています。	○	同上同様、今後検討していきたいしえんである。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	別の居宅への住み替え例はない。	○	今後、別の居宅へ住み替えすることになった場合、家族、及び本人に関わるケア関係者で情報交換を行う。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	一人ひとりに気を配り、排泄時、入浴時の声がけ等配慮している。又、人目につかない所で記録の記入、管理をしている。		今後も継続していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	難聴の方には、筆談やジェスチャー、カードを作り意思疎通が出来るように対応している。		今後も継続していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や会話の中、行動の中で本人の希望を掘り出し、対応している。		今後も継続していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	個々に合ったみだしなみ心がけ、必要な物を買ったり、希望時に本人が望む店へ散髪に行けるように対処している。		今後も継続していく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事などで場所や雰囲気をかえ食事を楽しんで頂けるよう提供している。個々で使いやすい食器を提供している。準備や片付けは危険性が無い限り一緒に行っている。	○	・その料理に合った器選びの工夫 ・差し入れなどで頂いた季節野菜の有効利用

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	アルコールを飲まれる方には、少量では有るが特別な日(イベント)には好みの飲み物を 楽しんでいただく。	○	本人の希望・体調の様子・家族の確認の元、楽しんでいただいている。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりのタイミングを、記録等で確認・把握し気持ちよく過ごせる様、声かけや誘導を実施している。		今後も継続していく
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人が入浴を楽しみにできる声かけを心にかけている	○	本人が本当に望んでいるのか、体調は悪くないか見極めに注意していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の活動時間の工夫や、居室・寝具の整備に気をつけている	○	個々に合った対応を心がける
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	・家事や、カレンダー管理など本人の負担にならないような、お手伝いをお願いしている。 ・地域の行事や、月ごとの行事を催したりして楽しんでいただく。	○	出来ること・やりたいことを把握し、支援していく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・自己管理のできるかたには、財布を持って頂いている。 ・スタッフと一緒に好みのおやつや、日用品の買物をしている。		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	お祭り・買物・散歩など積極的に出かけ、楽しめるよう工夫している。		今後も継続していく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	入居者の行きたい所、行事などで普段は行かないような所に行ける様支援している。	○	地域交流や家族と疎遠にならないような配慮をする
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や友達への、電話や手紙などが出来るよう希望に応じて支援している。		今後も継続していく
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族・友人が面会に来たとき、ゆったり過ごせる様、環境整備を心がけている。	○	家族・友人が集まれる機会を増やしています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・理解は出来ているが、危険行為回避の為、やむを得ずベッド(パイプ)に手すり柵を取り付けている。 ・利用者・家族に対して、十分な説明と確認を行っている。	○	職員の質の向上のための研修参加
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・日中は施錠されず、自由に出入りしている。 ・夜間は一人体制であり、防犯対策のためにも施錠している。	○	常に自由に(職員の目が行き届いている)束縛のない日々を過ごして頂けるように支援していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個々の人格を尊重し、その人のペースに合わせた介護に配慮し、常に所在・様子の把握、安全に努めます。		今後も継続していく
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	環境の変化で不安感を与えない様に注意し、危険を回避する様に心がけ行っています。		今後も継続していく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	・細心の注意を払い、日々事故防止に努めています。 ・薬を渡す際は、本人確認のため名前を口に出し、注意する。		今後も継続していく
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	行っていない(研修等有ると良い)が、管理者・C/M・主治医の指示を仰ぎ一人の判断では、行わないようにしています。	○	研修、又は応急手当・救急方の実施が有ると良い。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	・消防による避難訓練等の実施をしています。 ・安全に避難できるよう、近隣・自治会の方とも交流を深め協力体制をとっている。		今後も継続していく
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	事故を起こさないための予防対策を考え、入居者及び家族には事前に説明・確認・了解を得ています。		今後も継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	朝のバイタルチェックや、一人ひとりの体調の変化などに気を配り、問題があれば医療施設等に相談し、支持を仰ぎ速やかに対応に移す。		今後も継続していく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の管理、かかりつけの病院を把握し、受診記録の記入・スタッフ全員の把握、異常があれば医師に相談する。		今後も継続していく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排泄チェック表を作り、便秘をしないように水分摂取や運動を促すなど工夫する。		今後も継続していく
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	口腔洗浄は毎日行われており、出来ない入居者には介助で実施している。		今後も継続していく
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	献立表・水分表を作り一目でわかるようにしている。		今後も継続していく
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	マニュアル表を作成しており、消毒・手洗い・除菌を徹底している。	○	外出後のうがいも徹底していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	・調理器具、タオル類の消毒の徹底 ・食材を長時間置かないように心がけている		今後も継続していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	・玄関の入り口には物を置かず、つまずき等のないように配慮している。 ・門柱周りに花を植えたり、敷地内の草刈も行い、環境整備に努めている。		今後も継続していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・季節に合わせた飾りや花を置いている。 ・室温調整にも気を配り、レースのカーテンなどで調光もしている。		今後も継続していく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・ソファや一人用イスを配慮し、自由に誰もが座れるようにしている。 ・和室もあり、座卓で過ごせる様にしている。		今後も継続していく
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・テレビの位置やサイドテーブルなど、本人の希望に合わせている。 ・使い慣れたもの、馴染みのあるものを置いている。		今後も継続していく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、よう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	・掃除の時には、必ず換気している。 ・居室整理等で訪室した際にも、室温や換気に気を配り調節している。		今後も継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・浴室・トイレ・廊下、又必要な入居者の居室内に手すりをつけている。 ・ベッドからの立ち上がりの補助となるヒモをつけている。	今後も継続していく
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	・髭剃り・掃除・食事運びなど、自分で出来ることはして頂いている。 ・食事作りや畑のお世話、草むしりなど興味のある方に、やっていただいている。	今後も継続していく
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	・垣根にも花を植え、外からも見えるようにしている。 ・窓やベランダから見えるように、花壇を作り、プランターを置いている。 ・ベンチを置き日光浴も楽しめるようにしている。	今後も継続していく

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	◎①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2／3くらい ③利用者の1／3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	◎①ほぼ全ての家族 ②家族の2／3くらい ③家族の1／3くらい ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ◎②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ◎②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	◎①ほぼ全ての職員が ②職員の2／3くらいが ③職員の1／3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	◎①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	◎①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2／3くらいが ③家族等の1／3くらいが ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）